

幹心腐病（カバノアナタケほか）

カバノアナタケ

立木の幹に塊状で大型の菌核（径10～20cm）を形成する。菌核の表面は黒く縦横に亀裂が走り、石炭状で堅い。内部は黄褐色。子実体（キノコ）は茶褐色で、樹皮下に平たく広がり、全面に小さな穴（管孔）が並ぶ。

心材が白く腐る。



カバノアナタケ

その他の幹心腐病菌

ツリガネタケ、キコブタケ、ヒイロタケ。